

～あなたがクラウドを選ぶべき7つの理由～

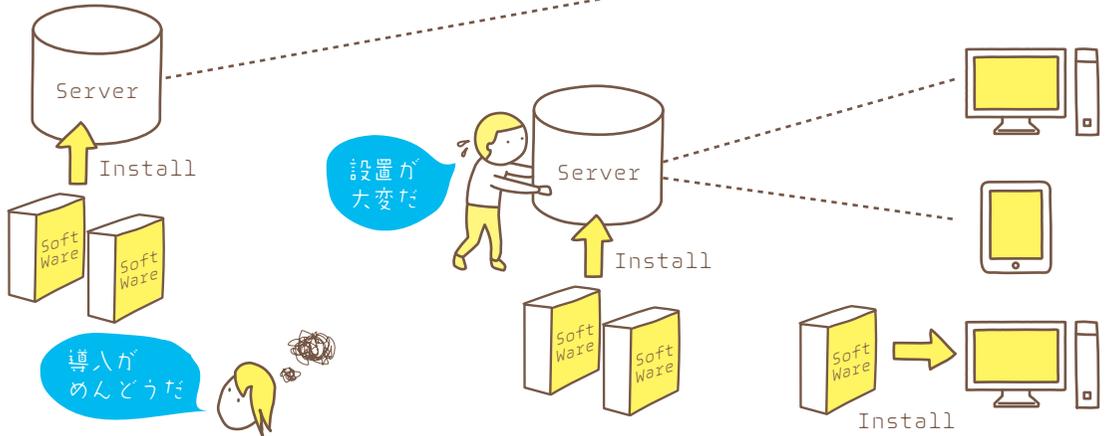
最近よく耳にする「クラウド」という言葉は、  
「クラウドコンピューティング」の略として使われています。  
これまでは、コンピューターにソフトウェアをインストールし、  
データもそのコンピューターのハードディスクに保存するというのが、  
ごく普通の使い方でした。  
これらのソフトウェアやデータを  
インターネットにつないで使うのが「クラウドコンピューティング」です。  
では「クラウドコンピューティング」には、どんな良いことがあるのでしょうか？  
これから、クラウドを選ぶべき7つの理由をご説明します。

# 1

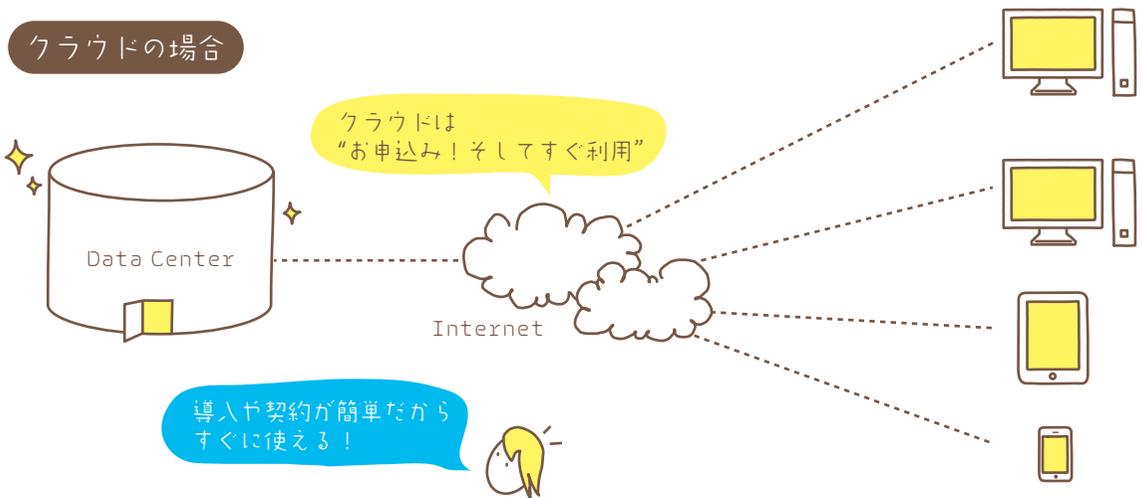
クラウドは…

## すぐ使える

### 従来



### クラウドの場合





## 蛇口をひねるように簡単に 業務にあったソフトウェアを利用できます

蛇口をひねれば日本中どこにいてもきれいな水が出ます。  
コンセントにプラグをつなげれば電気を使うことができます。  
当たり前のように思いますが、  
上下水道や電気、ガスのインフラが整備されるごく最近まで、  
飲み水は井戸を掘り、電気は自家発電が主流でした。

現在でも発展途上国に建設される生産施設は  
安定した電力を獲得するために自家発電施設を用意しなければなりません。

ITの世界では残念ながら現在でもこの井戸掘りや自家発電がおこなわれています。  
ソフトウェアを自前で開発し、データベースやソフトウェアを稼働するための  
サーバーシステムを自前で用意するのは、まさに井戸掘りや自家発電と同じです。

しかし、上下水道やコンセントのように“いつでも”“すぐに”  
業務にあったソフトウェアが利用できる仕組みが登場し、急速に普及しています。  
それが“クラウド”なのです。

浄水場や発電所に相当するのがデータセンターで、  
水道管や電線がインターネットです。

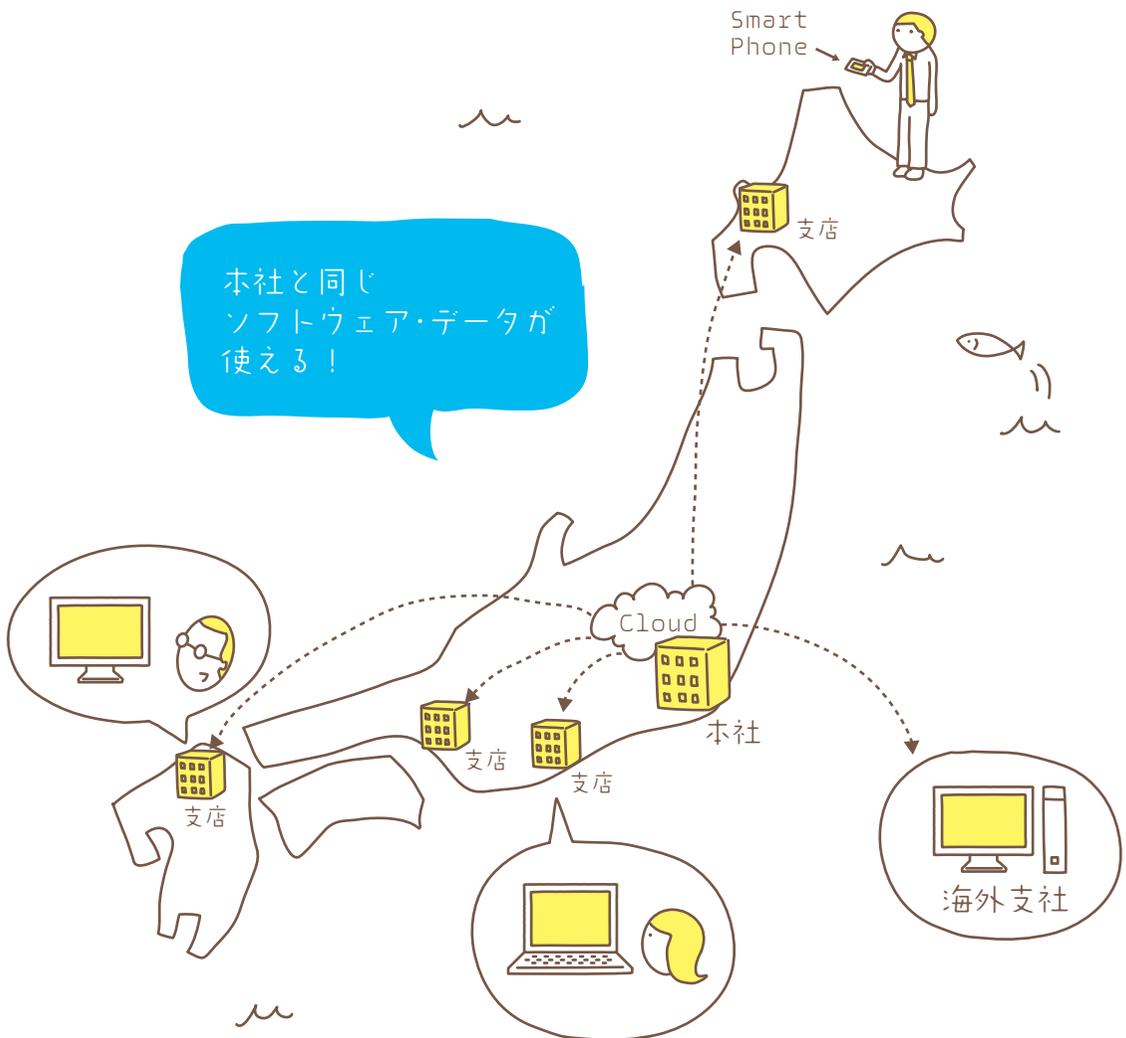
クラウドでは、ユーザーは必要なときに必要なソフトウェアをすぐに利用できます。

クラウドはすぐに効率よく業務をスタートできるのです。

# 2

クラウドは…

## どこでも使える





## 同じソフトウェアやデータを 全国どこにいても活用できます

クラウドは場所を選びません。

オフィスにおいても、自宅のパソコンでも、  
あるいはスマートフォンでも利用できます。

それはクラウドにあるソフトウェアやデータを使いたいときにどこでも、  
どんな端末でも、それらを取り出して利用できるからです。  
そのため、会社でしかできなかった仕事の家や出張先でも可能になり、  
時間の節約や移動のロスをなくすことができます。

クラウドの便利な機能は、さらに広がりのある使い方に発展できます。  
大企業では全国各地で同じソフトウェアを利用したり  
本社と支店で情報共有することができます。  
あるいは全国各地の状況を本社で知ることもできます。

さらには、企業間、つまり会社と会社をつなぐことができます。  
受発注システムを共有したり、協力企業間で同じ情報を共有したり、  
同じソフトウェアを利用して効率を飛躍的にあげることができます。

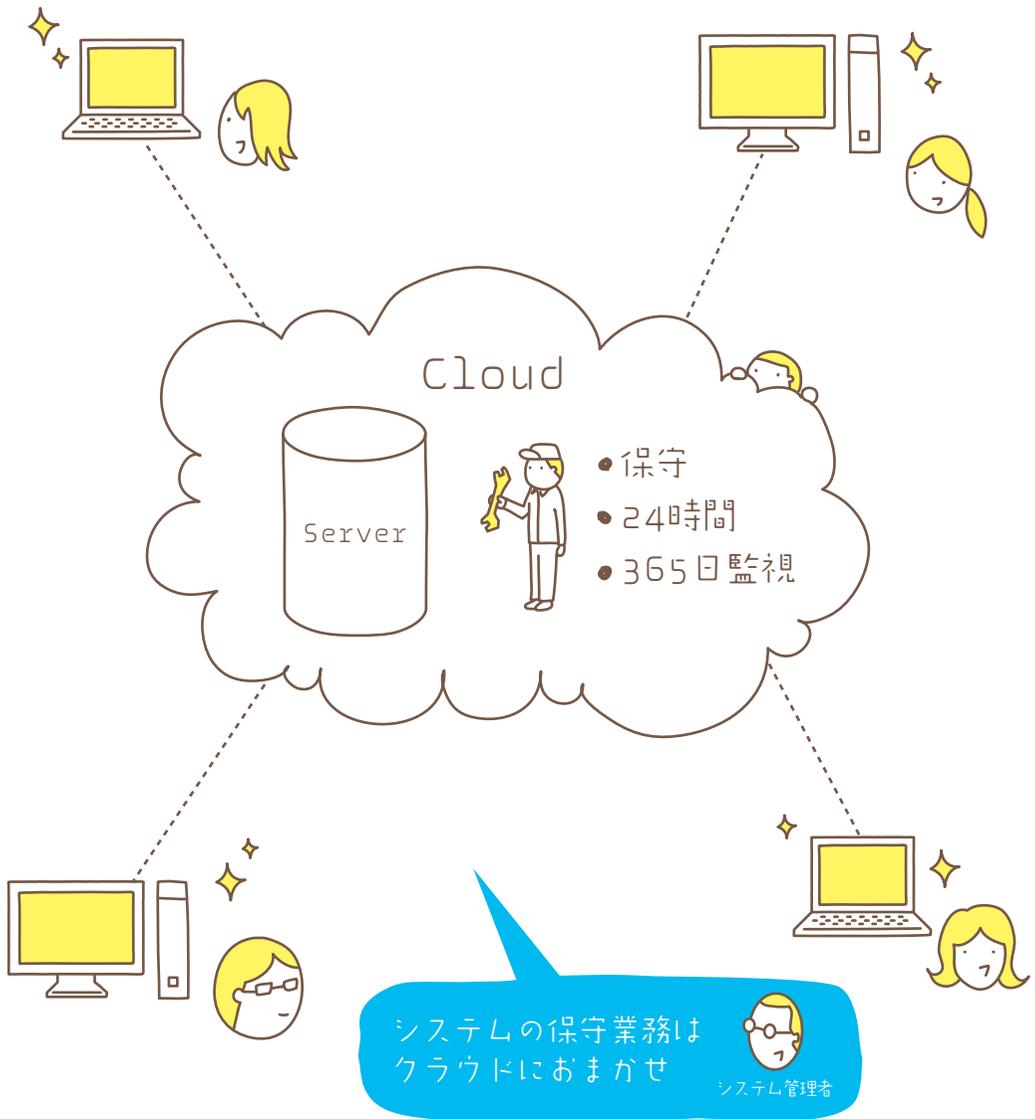
そろばんが電卓に変わりとても便利になりましたが、  
計算が早くなっただけで仕事のやり方を変革したわけではありません。

クラウドは、企業の垣根や空間を越えて、  
仕事のやり方やライフスタイルを変革する可能性があります。

# 3

クラウドは…

## オモリ不要





## やっかいな保守運用が クラウドならぐっと楽になります

システムには保守業務というオモリが必要です。

最新のソフトウェアにバージョンアップしたり、セキュリティソフトの更新をしたり、  
機械が壊れた時に修理交換をしたり、日々の苦勞が絶えません。

本来、システム導入は、  
“業務の効率化”、“単純作業からの解放”、“劇的なコストダウン”。  
そんな現場の「理想」を実現するためのもの。  
しかし、システムのオモリをしていくのに精一杯ではありませんか？

実際は、「最新版にしたら動かなかった」  
「今日システムが壊れたらどうしよう」  
「老朽化で修理できないけど、買い替えもできないのでそのまま使っている」

そんな「システムの人質に取られている」状態になっていませんか？  
クラウドサービスならそんなつらい状態から解放されます。

堅牢なインフラ設備や、24時間365日の監視体制。

システムを動かし続けること（保守運用）において、クラウドなら安心です。

システム管理者は、保守運用をクラウドに任せることで、

本来やらなくてもいい仕事から解放され、

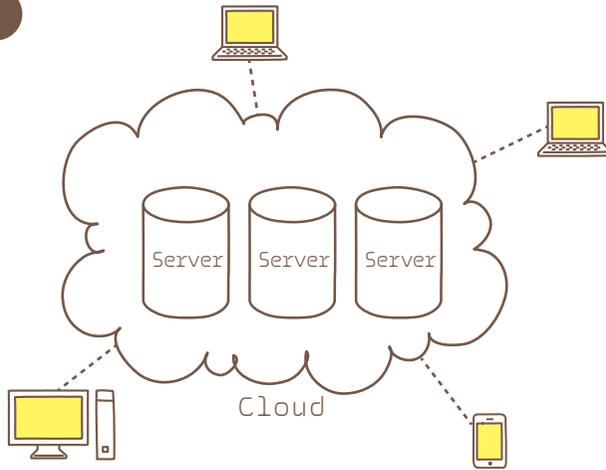
現場の「理想」を実現するという、  
システム導入本来の目的に集中することができます。

# 4

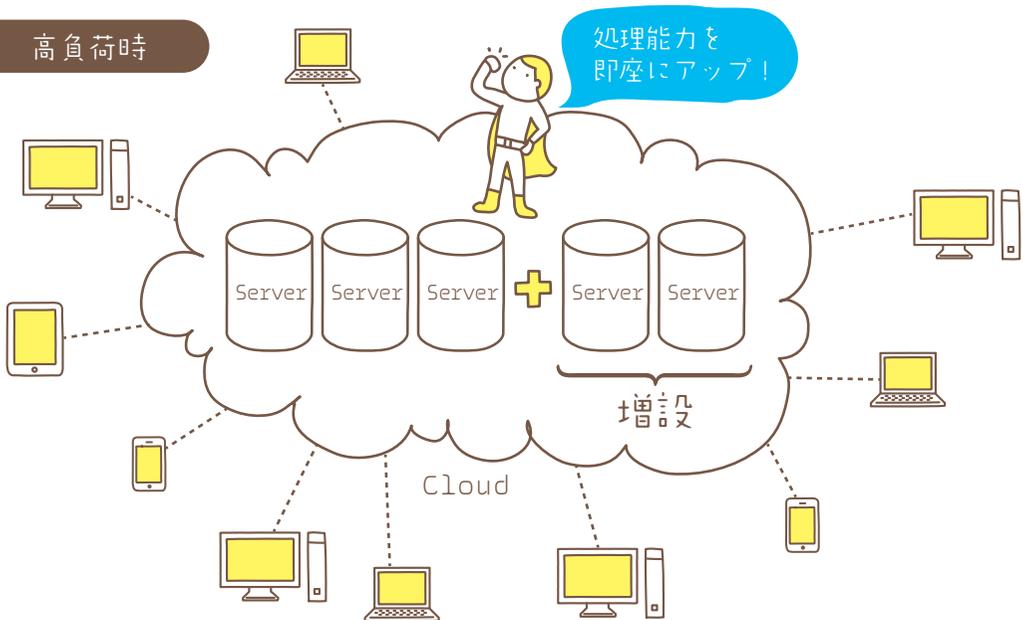
クラウドは…

## らくらく性能アップ

平常時



高負荷時





## クラウドなら処理能力不足に 悩むことはありません

処理時間が「8時間」から「30分」に。  
これは、ある企業で実際におきた出来事です。

通常、導入するシステムの性能設定（サイジング）をするときには、一番処理量が多い時（ピーク）と、将来の増加分を予測して決めます。

しかし、成長企業によくあることですが、

**導入時予測よりも処理が大幅に増えることがあります。**

会社の成長にあわせてシステムを買い換えようにも  
資産償却（リース）も終わっていないし、

後付けでシステムを買い足せる設計にはなっていない・・・

そんな状況でもクラウドサービスなら、  
大規模共有システムの強みで、**処理能力を後から高めることができます。**

冒頭のように「処理時間8時間がわずか30分になる」のも夢ではありません。

もういくらピークが高まっても、気にする必要はありません。

クラウドは、提供ベンダーが処理能力を

足していくことができるように作られているのです。

らくらく処理能力アップ

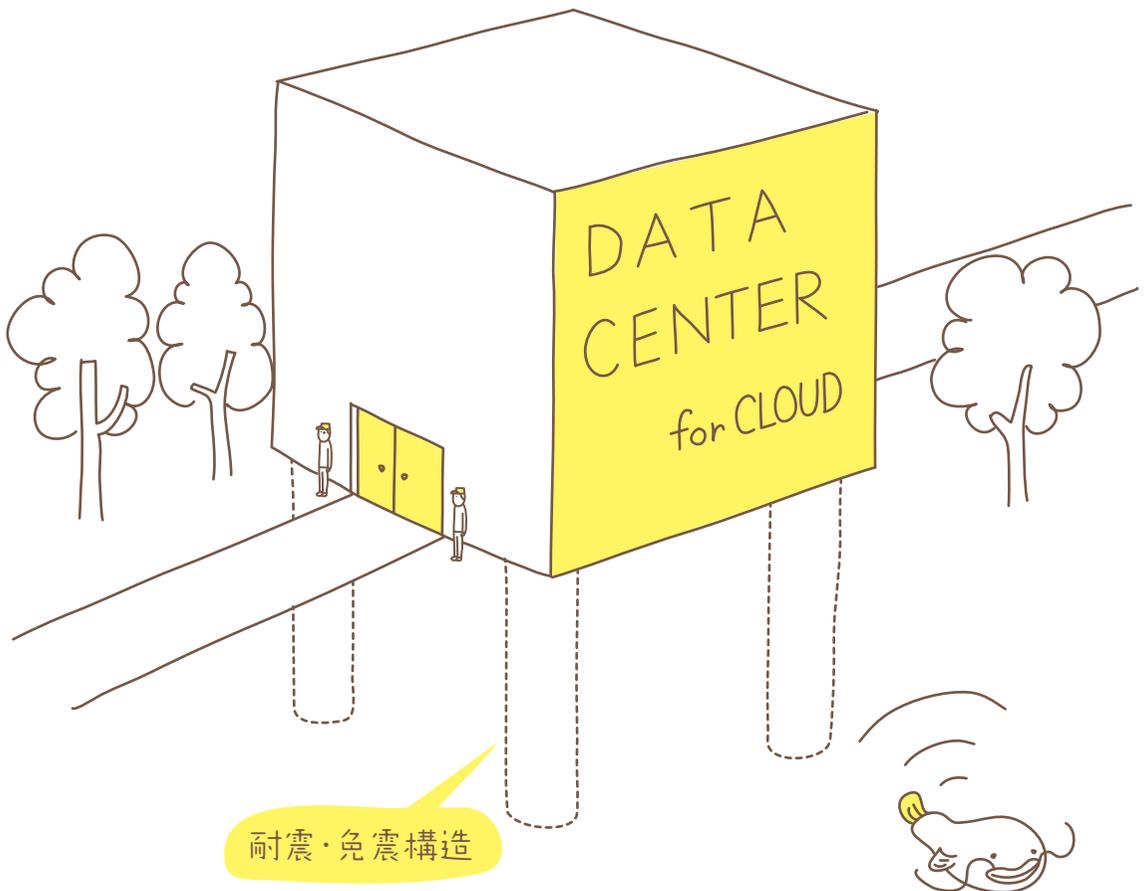
**クラウドなら「処理能力不足で業務が終わらない」という不安から解放されます。**

# 5

クラウドは…

## 安全、災害に強い

これなら災害時も  
安心だ



耐震・免震構造



## 大事なデータはオフィスより データセンターへ

東日本大震災までは、  
「企業にとって大事なデータは社内に置いておかないと」と  
思っていた方が多かったのです。  
ところが、これを転機に「企業にとって大事なデータこそクラウドに預けないと」と  
価値観の転換が起きたと言われています。

事実、住民票データをはじめ、企業や団体の大事なデータが震災で失われたり、  
もしくは危険にさらされたりしたため、国民全体から大変な注目を集めました。  
データを守るため、避難の時にパソコンを抱えて逃げたというお話もありました。

クラウドで活用されているデータセンターでは  
多くの災害を想定したリスク対策を施しています。

最新の耐震・免震構造やセキュリティー対策、  
大規模な震災を想定した予備燃料の備蓄や  
緊急時の燃料供給ルートが準備されています。

あなたは、大事なお金を自宅のタンスにしまえますか？  
もちろん銀行に預けるでしょう。

それは銀行の方が自宅よりも防犯設備も整っているし、  
銀行に預けたお金がいつのまにかなくなっているようなことはないと思っているからで、  
それが世間の常識になっているからです。

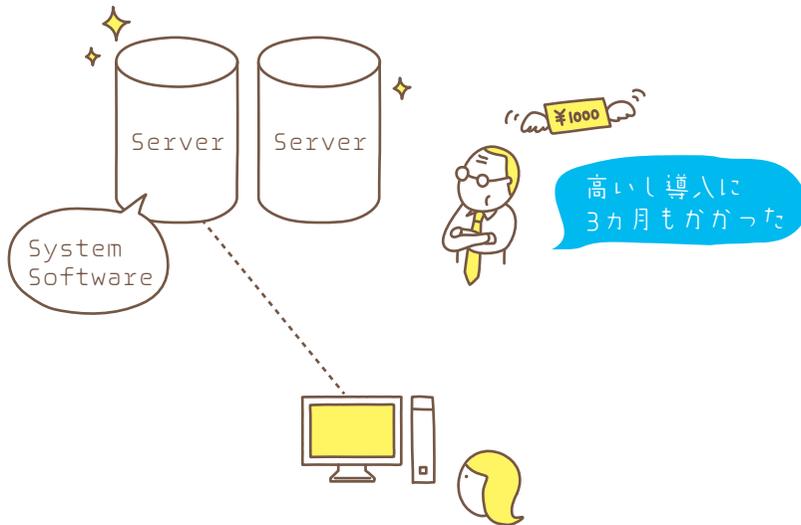
クラウドなら、あなたの大事なデータも安全です。

# 6

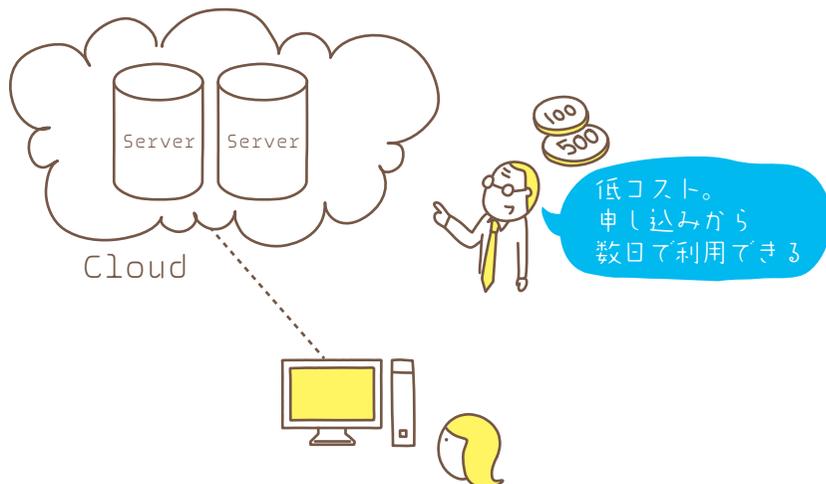
クラウドは…

## コストパフォーマンスが高い

従来



クラウド





## 一人あたり月額数百円から 数千円程度の利用料

クラウドは、費用対効果（＝コストパフォーマンス）が高いのが特長です。

サーバーやシステム、ソフトウェアを自社で導入する場合、

初期投資は高額になります。

また、利用できるようになるまでにさまざまな準備が必要なため、

最低3か月以上の期間が必要です。

こうしたことから、環境の変化に応じたフレキシブルな変更に向きません。

初期投資と時間をかけているため数年間は使い続けないと、もたがとれません。

クラウドなら、必要な時に必要なだけ利用し、

その分だけの費用負担ですみます。

早ければ、申し込み後、数分～数日後に利用することができます。

少人数でも始められるため効果がすぐ実感できる上、

状況に応じて自在に内容を変更したり、

他のクラウドに乗り換えることも簡単です。

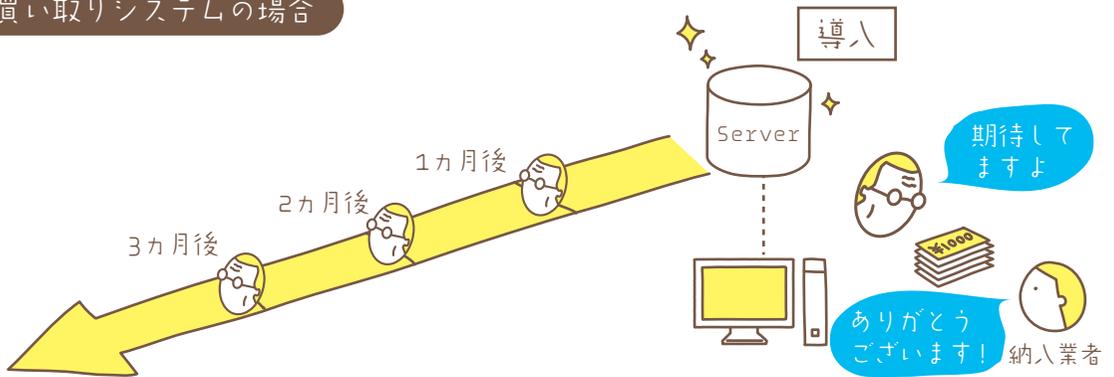
クラウドなら変化が激しい今の時代に、コストの最適化が図れます。

# 7

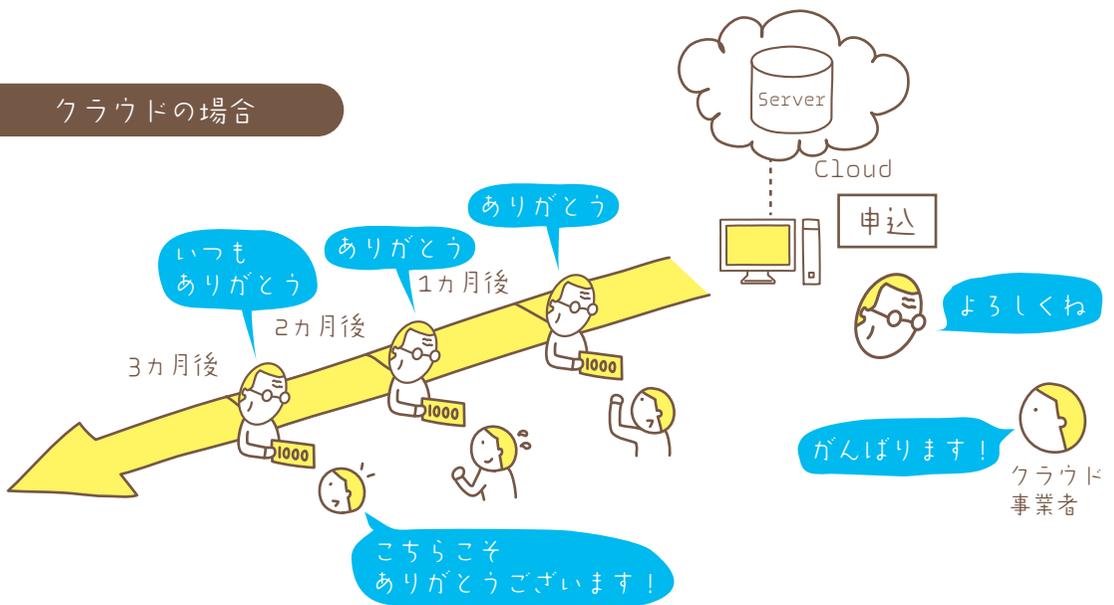
クラウドは…

## 「ありがとう」をいただくビジネス

### 買い取りシステムの場合



### クラウドの場合





クラウドは、お客さま満足度の  
高くなりやすい仕組みです。

買い取りのシステムは、  
長く使う前提で初めに大きな金額を支払います。  
これは「これからよろしくね」「期待していますよ」と支払われる、  
ある意味将来に向けたお金です。

クラウドは、毎月利用した分だけ利用料をいただきます。

これは「今月もありがとう」と支払われる、  
ある意味結果に対するお金です。

クラウド事業者は、この「ありがとう」が「収入」になるわけですから、  
これをたくさんいただけるように頑張ります。

つまり、お客さまの満足（ありがとう）が、

クラウド事業者の最も重要な目的（収入）と一致するのが、  
クラウドビジネスの仕組みなのです。

## ● おわりに ●

クラウドが、コンピューターの世界をより良いものに変えてくれる

可能性を感じていただけましたでしょうか？

利便性、安全性、経済性のすべてで、クラウドは皆さまの業務と生活を豊かにしてくれます。

そして、“小さく” はじめられるのもクラウドの良さです。

まずは一部のお仕事からでも、クラウド化を試してみてください。

もし何から始めればよいかわからなかったら、

ぜひ ASPIC（アスピック）へお問い合わせください。

私たちが、みなさまのクラウド活用をお手伝いさせていただきます。

### ASPIC のミッション

クラウドサービスを社会インフラとして定着させ、  
日本の産業競争力の向上をめざし、  
世界最高のクラウド先進国にすると共に、会員ビジネスの繁栄に貢献する。

### ASPIC のビジョン

1. 安心・安全なクラウド市場の確立、市場創造・拡大をめざす。
2. 会員、業界、利用企業、社会全体の発展・拡大をめざす。
3. 世界で活躍するグローバルサービスの展開をめざす。



特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム（ASPIC）は、  
安心・安全なクラウド・ASP・SaaS 市場の展開を積極的に推進しています。  
皆様のご活躍の場として、ASPIC をご利用ください。

ASPIC は皆様のお役に立てるよう、一層努力してまいります。

#### ▶▶▶ ASPIC 事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-3-1 たつみビル 2F

☎ 03-6662-6591

✉ office@aspicjapan.org